

長崎ほいぐだより

No.255
2019.3

発行人 西川 義文
編集人 山口 進太郎
購読料 一部 55円

発行：一般社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871

「カメムラさんちに泊まりにいつてきま〜す〜」
枕とタオルケットをつかんで飛び出す。めざす二軒先の老夫婦宅は、5歳の私には最高のホームステイ先だ。からだの弱いおじさんのために柔らかく炊いたごはんも、おばちゃんのお菓子の『三太郎』を聴きながら眠る夜も、いつもと違う楽しさがあった。

「ここから幼稚園に通いたい」
友達の前よりちゃんちで居候を続けたこともあった。大工の棟梁である豪快なお父さんと三姉妹がいる彼女の家は、サラリーマンの我が家にはない新鮮さがあり、しばらくそこから幼稚園に通った。日常と違う流れの渦に飛び込む。それがたまらなく楽しくて、両親を説得しては小さな旅をしていた。

小学生になっても勉強など殆どせず、森や原っぱで虫や石と夢中で遊び続けた。さらに世界を広げてくれたのは読書だった。庭にこしらえたダンボールの家に寝転び、本の世界に100%没入。「あたしは自分のほか、だれにもなりたくないわ」



次々と問題を起こしながらもそう言い放つ『赤毛のアン』に、ちっともおりこうさんじゃない私は俄然勇気がわいた。よし、おとなにならたらカナダで暮らそう！
中学生になり、初めて勉強を始めた。カナダに住むのだから英語が必要だ。先生の言葉も一つ残らず聞き、予習も復習も欠かさない。英語も他の教科も伸び始めた。

「そんな充実した教師生活をおくっていたもの、35歳を過ぎたあたりから、心の中がザワザワし始める。人生の折り返し地点を意識したとき、このままでいいのか？と疑問がわいたのだ。何か表現したい！毎晩夜中に目が覚めては、わきおこる強い思い。それが何かかわからず悶々として数年がたったある日、職員室で回覧板が回ってきた。文科省の海外自費研修制度が始まったという。これだ！40歳を目前にして、迷わずカナダに飛んだ。行けば何かが見つかるといふ予感に導かれて。

バンクーバー生活は発見の連続だった。研修予定の10か月はあつという間に終わる、帰国を前にし、カナダに残ることに決めた。まだこの国で吸収することがあるという直感をたよりに、周囲の反対の

間違えるし、凹みもする。つばな先生にはなれないが、私はそのひとつのサンプルとして、こどもに接しようとした。休みになると海外を旅し、経験したことを写真とともに授業で語った。

間違えるし、凹みもする。つばな先生にはなれないが、私はそのひとつのサンプルとして、こどもに接しようとした。休みになると海外を旅し、経験したことを写真とともに授業で語った。

な、まずは跳べーとバンジージャンプの勢いで退職届を出した。すると意気揚々と辞めたものの、ビザがなかなか下りず、働けない毎日暇なので、カメラをぶらさげて、街や森を歩き、島を旅した。陽を浴びてきらめく山々。湖をゆったりと泳ぐカナダグースの家族。そのまんまの自分を生きた人々の飾らない笑顔。美しいものはそこかしこにあった。無我夢中になって毎日シャッターを切っては、日本の友人たちへブログでシェアした。読む人が元気になるものも、毎日何かしらおももしろいものを探る習慣がついた。そういう視線で外に出ると、おもしろい何かに遭遇する。自分の心臓の鼓動と世

界が同じリズムを刻み始めた。気がつけば、18年間チヨークを握っていた手にはカメラが馴染み、出逢いの連鎖のなか、写真の師匠にも恵まれ「撮って書く」が生業となっていた。



その後、さまざまな国を旅しながら撮影している。フィニランドでは友人の姉の友人の家を数軒泊まりながら旅した。軒泊まりながら、みな温かく歓迎してくれた。ある日森へ撮影へという時、モデルとなる4歳の女の子が、突然しゃがみこみ地面をじっと見て動かさない。

「彼女が蟻を見ているんだよ」と言う。おおお！なん

「彼女が蟻を見ているんだよ」と言う。おおお！なん



「長崎ほいぐだより」は新しい年号で迎える。今後は子育てで忙しいよ、ね、と記事を書く。応援よろしくお願

「長崎ほいぐだより」は新しい年号で迎える。今後は子育てで忙しいよ、ね、と記事を書く。応援よろしくお願

好奇心の海にドボン！

【プロフィール】 西澤 律子

1965年 長崎市出身。18年間の中学校英語教師生活の後、カナダで5年暮らす。2010年から長崎に拠点を移し、さまざまな国を旅しながら、写真集「あかるいほろへ」(小学館)などを出版。「ハウスステニス美術館などで写真展開催。」「楽しくこどもを撮るイベント」など保育園、学校などでも講演やワークショップを開催。

ウェブサイト
https://www.ritsukonishizawa.com
講演・執筆依頼は
info@ritsukonishizawa.comまで。

「あ、しまった」平成最後の「(S・Y)」
も、中国のわ平
れ、内由る成
天、から書来、が
も、も選物は平
地外はの中成終

長崎ほいくだより

購読料 一部 55円

発行：社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871

続きは、お買い求めいただきご購入下さい。
お問い合わせは、保育所(園)または長崎県保育協会までお願い致します。

2ページ目以降の内容をご紹介します

■ つれづれ

園長先生等のリレー式コラムです。保育に対する思いや考えなどを文章にしています。

■ 保育のひろば

● 地域との交流

各保育園の近隣の交流状況など画像を添えて紹介します。

● ランチタイム

給食やおやつ、食育等の取り組みを情報提供致します。

● 保育園めぐり

県下の保育園を地区別に順番で紹介しています。

■ すこやかなそだち

保育の専門家が、プロの視点で子育てに関する様々なテーマに基づいて書き下ろす連載コーナーです。

■ 読者のひろば

子育ての思いやエピソードなど地区別の保護者に書いていただくコーナーです。

■ であい

保育士に保育に対する質問を投げかけそれに答えるコーナーです。

■ ZOO夢イン 家族のお出かけスポット情報

編集部一押しの地元のお出かけ情報です。家族向きのお出かけに参考になります。

■ つぶやき

■ わんぱく写真館

子ども達の日頃の保育園における活発な活動の写真を掲載しています。

■ え?!絵本

子ども向けのおすすめ絵本です。わかりやすく解説しています。